

フローリングの床にワックスを塗布した場合のお手入れ方法についてご紹介します。ワックスは爪のマニキュアと同じようにフローリングの表面を保護しつつツヤを出していますが、歩行などにより徐々にツヤが低下してしまいます。ワックスを再塗布することで再び綺麗な状態にすることは可能ですが、適切な頻度でワックスを塗布しなければ様々な問題が発生してしまいます。

■ワックスの性質について


1

再塗布の目安は概ね3～6ヶ月毎です。

左の写真はワックスを塗布し1ヶ月(左), 6ヶ月生活した状態(右)を記録したものです。6ヶ月経った状態では、ツヤがなくてもワックスはまだ残っています。あまり頻回に再塗布するとワックスが厚くなり過ぎて、塗り替えの際の除去が大変になってしまいます。


2

厚い膜になり過ぎるともろくなります。

左の写真は、2年間毎月ワックスを再塗布し続けた状態を記録したものです。ワックスが厚くなり過ぎてもろくなり、部分的にワックスが剥がれたり、ツヤが極端に無くなった状態です。こうなるといくらワックスを塗ってもツヤが出ない状態になってしまいます。


3

汚れを取らずにワックスを塗ると、不具合が発生します。

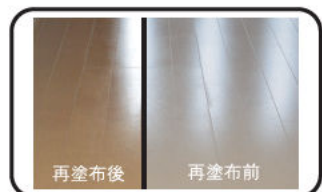
左の写真は、水拭きをしただけでワックスを再塗布した結果、ワックスが粉になって取れてしまっ、下のワックス層が露出した状態です。原因はフローリングの表面に残っていた油脂分がワックスの密着を邪魔したために発生したものです。


4

長時間水分と接触すると、白濁し元に戻らないことがあります。

左の写真は、水がワックスの表面にこぼれて2時間経過した状態です。このような状態は、乾燥しても元に戻らず、白化したままになることがあります。このような状態になってしまうと塗り直ししなければなりませんので、水のこぼれているのを見つけたら早めに拭き取りましょう。

■ワックスの再塗布


1

再塗布の時期かを判断します。

左の写真はワックスを再塗布する前後の状態を記録したものです。壁際など人の歩かない陽の当たる場所の状態と、部屋の中央部分と比べて時に、ツヤが極端に落ちているだけでなく、色味も違って見え、ワックスを塗布してから3ヶ月以上経過しているようなら、そろそろ再塗布の時期です。


2

ワックスがけは天気のよい日に

室温が5℃以下の日や雨天など湿度の高い日にはワックスの乾きが悪く、仕上がりに影響しますので、できるだけ避けるようにしてください。


3

フローリング表面のゴミ・ホコリを取り除きます。

掃除機や乾式フロアワイパーなどを使用してゴミやホコリを取り除きます。化学雑巾や化学モップなどは使用を避けてください。


4

床面全体の汚れを落とします。

ワックスの仕上がりを良くし、きちんと性能を発揮させるためには、皮脂などの油汚れや、床にこびり付いた汚れを確実に取り除かなければなりません。中性洗剤を水で希釈して、スポンジタワシなどで丁寧にこすり落とします。

ご注意！ 洗浄の際、強く擦ると床面を傷付ける恐れがあります。


5

水拭きをします。

きれいに水洗いした雑巾を固く絞って、水拭きを2回行います。洗剤は乾かないうちに拭き取ってください。また、床面や溝に洗剤が残らないようにします。

ご注意！ 床面と水・洗剤類との接触時間は10分以内になるよう早く作業を行ってください。


6

床を十分に乾燥させます。

水分が残っているとワックスの仕上がりに影響しますので、約30分ほど乾燥させます。扇風機を使用するのも効果的です。冬期は、暖房を25℃程度に設定すると、乾きを早くすることが出来ます。

これ以降の手順はワックス導入編⑥以降を参照下さい。

ご注意！ 床面の汚れが十分に落ちていないと、仕上がりが不良や汚れの抱き込みの原因になります。

▶ インデックス・ガイド

必要に応じて以下の資料をご参照下さい。

ワックス後の日常のお手入れ



日常のお手入れ編

をご覧ください。

ワックスを塗り直したい



ワックス塗り替え編

をご覧ください。